

【農林水産省生産局長賞】

団体名 星の郷青空市株式会社
代表者 張谷和弘
所在地 岡山県

〔表彰のポイント〕

昭和63年、農業後継者の中古テント一張りの無人市から出発、現在、年間売上額4億円超の直売所として都市住民との交流拠点の顔。

〔取組の概要〕

○県下有数の農産物直売所

不利な中山間地域の条件を逆手にとり、農業後継者13名で「星の郷青空市」を小さなテントひとつで開設し、平成6年に星の郷青空市株式会社とした。「美星の風をあなたのもとへ」をキャッチフレーズに、鮮度、安さ、品揃え、地場産にこだわり入り込み客40万人以上、年間売上約4億円を安定的に確保している。

○地域農業・農村活性化に貢献

青空市の登録出荷農家戸数は、現在221戸、高齢者、女性や小規模経営者を中心に少量多品目を重視、1回当たりの出荷制限（50個まで）をしている。

○農業の6次産業化に貢献

平成10年度に農産加工施設を整備し、みそやジャム等地元農産物を材料とした6次産業化による開発・販売を開始し、現在、28種類、年間2,500万円の売上げがある。

特に「そばカリント」は、名物となり1,500万円を売り上げている。

○都市（消費者）との交流・農業体験

近隣の直売所（12団体）と連携し「合同青空市」や研修会を開催、代表者はその会長を務める。また年2回実施している手前みそづくりやお餅づくり体験を実施、さらに生協とタイアップし、植付から栽培管理、収穫、加工・調理、食べるまでの体験交流活動も実施している。

